令和８年度　霧島市立竹子小学校　学校だより　７月号

風は竹子から

TEL 0995-59-2832　FAX 59-3782　✉takazesyou-s2@po.mct.ne.jp

「それぞれの個性を大切に」

校長　寶滿　幸博

夏らしい強い日差しが感じられるようになってきました。子供たちは、この青空を「待っていました」とばかりに、元気いっぱいに外に出て、楽しそうに伸び伸びと、昆虫探しや野菜の収穫、理科の観察等をしています。子供たちの明るく元気で活発な声を聞きますと、とてもうれしい気持ちになります。

授業時間では、「竹子カフェ」と名付けた対話活動に取り組んでいます。自分の考えをまとめ、表現し、友だちの考えと比較・検討することで学びを深めていくことをねらいの一つとしています。子供たちはこのような活動等を通して、この一学期間で、心身ともに大きく成長したように思います。

子供たちの、日々の学習や全校朝会等での発表の様子を見ていますと、「子供たちは一人一人違う」ということを改めて感じます。自分の考えたことをさっと挙手して発表する子、じっくりと考えて周りの様子をみてからゆっくりと発表する子、記録してから発表する子、困っている友だちに寄り添い、そっと支え発表の手助けをする子等、それぞれに違いがあり良さがあります。どの子供の姿も、その子らしさがあらわれる大切な個性だと感じます。

先月、車いすラグビーを題材にしたテレビ番組を視聴しました。練習や試合の様子がえがかれていましたが、車いす同士が激しくぶつかり合う場面や、仲間と協力し、素早くボールをつなぎゴールする姿等、ものすごい迫力を感じました。そして、選手たち一人一人が、自分の持っている力や特徴を生かしながらチームに貢献していく姿や、話し合いを深めながら進めていく姿が強く印象に残りました。それぞれの違いがあるからこそ、支え合い、補い合いながら一つのチームとしての力が生まれていくのだと感じました。

学校では、子供たちが安心して自分らしさを発揮し、友だちの違いを認め合いながら過ごしていくことを大切に取り組んでいます。先程の「竹子カフェ」では、話し合いの三つのルールとして、「否定しない」「話す人を見る」「最後まで聞く」こと等の共通理解を図りながら進めています。個性を大切にし、対話活動を積み重ねることで、「自分の良さに気づき、友だちの良さを認め、人を大切にする心」が育っていくものと考えます。お子様の「いいところ」や「その子らしさ」を今まで以上に伝えていこうと考えておりますので、御家庭でもどうぞよろしくお願いします。保護者の皆様と連携を図り、子供たちの「自信」や、「自分や周りの人を大切にしようとする気持ち」を醸成していきたいと考えます。

さて、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みに入ります。『命』に関わる、「水難事故、交通事故、不審者、災害、感染症、熱中症」等に十分に気を付けて、日頃の学校生活ではできない貴重な体験をたくさんして、多くの思い出を作ってほしいと思います。最後になりましたが、一学期間、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に深い御理解と温かい御支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

学校保健委員会・ＡＥＤ講習会



校医の先生方や保護者の皆様をお迎えし、学校保健委員会を開催いたしました。

今回は、成長段階にある子どもたちの心と体の健康を守るために、今まさに知ってほしい大切なポイントについて、専門的な立場から貴重なご助言をいただきました。また、先般ご家庭で取り組んでいただいた「メディアコントロール週間」の結果についても共有を行いました。アンケートでは、「テレビやスマホなどのメディアを制限したことで、家族で会話をする時間や触れ合いの時間が増えた」「子どもとじっくり向き合う良いきっかけになった」といった嬉しい感想が数多く寄せられました。ネットやゲームが身近にある現代だからこそ、意識して「オフ」の時間を作る大切さを改めて実感する機会となりました。ご家庭での温かいご協力、本当にありがとうございました。

学校保健委員会に続き、霧島市消防局溝辺分遣隊の方々を講師にお迎えし、救急救命（AED）講習会を実施いたしました。７月 21 日から、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みのプール開放が始まります。万が一の事態に備え、参加した職員や保護者の皆様は、熱心に胸骨圧迫や AED の操作手順を確認していました。子どもたちの「安全・安心なプール開放」に向けて、学校と家庭が一体となった大変有意義な取組となりました。講師の皆様、そしてご参加いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

総合的な学習の時間～かがやき～

竹子小学校では、総合的な学習の時間を「かがやき」と名付け、地域に根ざした探究活動を推進しています。子供たちが自ら課題を見つけ、主体的に判断して問題を解決する力を育むとともに、地域の自然や文化、人々の良さに触れる体験を通して、自己の生き方を考える姿勢を養っています。

田植え体験



６年生は地域の方のご厚意により、田植え体験を行いました。高学年の目標である「地域の人の良さに気づくこと」や「相手の思いや願いを大切にしながら関わること」を意識し、田植えの方法だけでなく、良い稲に育てるための工夫や生産者の方の熱い思いについても、直接のお話や体験を通して深く学ぶことができました。



ふるさと竹子を愛し、地域の生活を支える方々への感謝の心を深めた子供たちは、秋に黄金色の稲穂を収穫する日を今からとても楽しみにしています。今回の体験で得た命の尊さや人々の願いを、今後の学習や生活の中にしっかりと生かしていくことを期待しています。

ユリ農家見学

３・４年生は地元のユリ農家を見学しました。中学年の目標である「自分の住む地域の良さやそこに住む人々の良さに気づくこと」を意識し、生産者の方の熱心な説明や実際の作業を間近で体感しました。美しいユリを育てるための創意工夫や、日々の苦労、そして開花の喜びといった生産者の方の生の声に触れることで、子供たちは地域を支える人々の思いを深く感じ取ることができました。今回の見学で得た気づきや学びを、これからの探究活動や自分たちの生活の中にしっかりと生かしていけるよう支援してまいります。

緑陰親子読書会



１・２年生は、読書旬間の取り組みとして隼人図書館の方をお招きして「お話し会」を実施しました。「相手が伝えたい事柄を正確に聞き取る力」や「言語についての知識・理解」を深める貴重な機会となりました。また、プロの語りに触れることで、豊かな感性や、未知の事柄への探究心を養う機会ともなりました。本の世界に浸り、物語の楽しさを肌で感じた子供たちは、読書への興味をさらに膨らませたようです。この体験をきっかけに、本を通して自ら調べ、学ぼうとする主体的な学習態度が育っていくことを期待しています。



８・９月の行事等予定

- 11 日（火）～17 日（月）リフレッシュウィーク
- 12 日（水）～14 日（金）学校閉庁日
- 21 日（金）出校日
- １日（火）２学期始業式・大掃除
  - 命の教育の日
  - いじめを考える週間～９日
- ２日（水）SC 来校　　３日（木）身体計測
- ８日（火）集金日　　10 日（木）移動図書館
- 15 日（火）第４回 PTA 理事会
- 21 日（月）敬老の日　　22 日（火）国民の休日
- 23 日（水）祝　秋分の日
- 24 日（水）運動会練習スタート

８月は「戦争」について考える機会がたくさんあります。“あたりまえ”と思っている日常が、かけがえのないものであることを実感し、「知ること・考えること・語り継ぐこと」の大切さを感じてほしいものです。本校では、命の尊さや平和のありがたさを心にとめながら、未来を担う子どもたちが“やさしさ”や“思いやり”をもって生きていけるよう、平和教育を続けていきます。